

宇都宮市立雀宮東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・学校課題で1人1台端末の効果的な活用について研究を進めている。	・1人1台端末を授業に取り入れ、各教科で効果的に活用する。	・3～6年生では、「インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている」「パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる」「調べたことをパソコンを使ってまとめることができる」「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」の質問に肯定的に回答した児童の割合は、市と比べて大きく上回っている。
・日記、作文指導	・授業や家庭学習で、学年に応じた学校指定用紙に、日記や作文を書き、書く力を養う。	・6年生は、文章を書くことをねらいとする問題の正答率が、いずれも市の平均を上回った。「目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしているか」「文章全体の構成や展開を考えているか」を問う問題では、正答率が9割を超えている。さらに、「自分の意見とその理由を明確にして書いているか」を問う問題では、正答率が100%であった。
・家庭学習の充実	・全校児童統一のファイルに、自主学習記録カードと音読カードを貼り、毎日の学習記録をつける。家庭のサインと担任のサインを毎日記入し、児童の学習を励ます。	・3～6年生では、「授業で習ったことをその日のうちに復習している」の質問に肯定的に回答した児童の割合は、市と比べて上回っている。「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の質問では、3、4、6年生の児童の肯定的に回答した割合が市と比べて上回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・国語「書くこと」では、「図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題において、国、県、市の平均を上回った。これは、学校全体で日記・作文指導に取り組んできた成果であると考えられる。さらに、市の調査6年生国語でも全ての「書くこと」の問題で、市の平均を上回った。次年度も引き続き、国語の授業だけでなく他教科にわたり、自分の考えをノートに分かりやすく書く活動や様々な表現方法を生かした日記・作文指導を充実させ、書く力の育成に努める。

・算数では、全ての領域で、市の平均よりも上回った。毎日の授業や朝の学習などで基礎基本の定着を図ってきた成果だと考えられる。次年度も指導を充実させ、力を伸ばしていきたい。

・市の調査において、「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の質問に肯定的に回答した児童の割合は、市の平均を上回った。今後も指導を充実させ、児童が問いをもち解決の見通しを立てて主体的に活動したり、学習の振り返りを計画的に実施し、次の学習に生かしたりできるようにしていくことで、児童の学習意欲を高めていく。